

南 蛮

うん なん

No.80 2026.1

だんらん
お餅つきの様子



12月定例会

dan-ran食堂

地域年齢問わず、どなたでも参加できる地域食堂。
血縁関係を超え楽しく団らん出来る場を目指して、月に1回程度で開催。

謹
賀
新
年

年頭のあいさつ



雲南市議会 議長
松林 孝之

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、ご家族揃いで清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より雲南市議会に對しまして、皆様方の温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと本市においては、コウノトリが9年連続でふ化、過去最多の8羽が巣立ちました。市内での営巣が本年度10年を迎えることから、コウノトリを「市の鳥」指定に向け、講演会の開催などが行われております。

また、本年度より第3次雲南市総合計画が「えすこな雲南市」を将来像として掲げ、「変

わらず、変える」を基本理念に持続可能なまちづくりへ向けて進みだしました。本市が抱える人口減少や高齢化などの課題解決に向け、市長と議会の「二元代表制」の下、精一杯努力する所存であります。そのためには市議会としては、「雲南市議会基本条例」に則り、公平性や透明性を確保し、開かれた議会運営を行ってまいります。また、「雲南市議会ハラスメント根絶条例」の制定により、議員及び議会としての役割を十分発揮するため、互いに人格、人権を尊重し、相互の理解を深めてまいります。市民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の干支は丙午ひのうまであり、「勢いよく前進する年」とも言われております。本市がこの干支の力強さにならい、益々発展する年となりますよう、また皆様にとりまして素晴らしい1年になりますことを心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



令和7年度12月補正予算可決

一般会計補正予算

補正額

5億6,981万円

補正後
総額

327億2,799万円

● 除雪総務管理事業

1億7,737万円

(補正後 2億5,069万円)

● 神楽の宿屋根改修事業（大東町海潮地区）

4,606万円

(令和7年度から令和8年度債務負担行為補正※)

令和7年12月定例会を12月4日から19日までの16日間の会期で行いました。
条例その他20件、予算11件、承認1件、同意5件、報告3件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決・承認・同意し、請願1件は賛成少数で不採択としました。
その他、次期一般廃棄物処理施設整備調査特別委員会を設置しました（P14参照）。



※債務負担行為とは年度をまたがっての補正予算対応

令和7年度主な補正予算(一般会計)

(単位: 千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
妊娠・出産包括支援事業施設整備費補助金	産後ケア事業を実施する施設の修繕を行うことにより、妊産婦等を支える仕組みに必要な体制を整備するもの。	594	594	新規
農業人材投資事業交付金	国の経営開始資金の対象外となる50歳以上の認定新規就農者に対し、就農後の経営確立のための資金を交付し経営の安定化を図る。	240	240	新規
農業水利施設省エネルギー化推進対策事業補助金	エネルギー価格高騰の影響を受けにくい農業水利システム(管理手法、設備)への転換を促すため、省エネルギー化に取り組む施設管理者に対し、エネルギー価格高騰分の7割を補助金として交付する。	266	266	新規
大東高等学校支援事業	令和8年度入居希望者受入に伴い必要となるグラウンド大東95の備品整備及び施設改修等を行う。	4,088	4,088	新規
道路施設整備事業	市道山田遠所線の盛土部分の変状対策のため道路整備を行う。	12,200	45,800	
原子力災害対策事業	令和8年出水期からのJアラート新型受信機等の更新および災害対策本部室マイク設備。	8,145	46,140	
だんだんタクシー事業	だんだんタクシー実績(運行便数の増)見込みに伴う委託料の増。	2,443	70,944	
農業委員会総務管理事業	農地利用の最適化のための活動に対する交付金の増。	2,084	27,933	
宿泊・観光消費喚起物価高騰支援事業	市内宿泊者を対象とした宿泊時及び市内観光施設等で使用できる観光券の販売事業。	2,493	21,023	
除雪総務管理事業	除雪作業業務委託費の見込みによる増。 凍結散布防止剤購入に伴う増。	177,372	250,690	
大仁農道災害復旧事業	R6発生大仁農道災害復旧工事の債務負担割合変更による増。	100,000	302,000	
農林災害総務管理事業	補助金申請書類作成支援業務、八所農道地滑り調査業務。	18,500	28,500	
現年公共土木施設災害復旧事業	R7発生公共土木施設災害復旧工事の箇所数の増。	26,700	32,700	
小学校施設整備事業	9/14の落雷に伴う自動火災報知設備、放送設備等の修繕(加茂小・掛合小)。給水設備(揚水ポンプ)修繕(西小)。	8,059	68,997	
中学校施設整備事業	9/14の落雷に伴う自動火災報知設備、空調設備の修繕(加茂中)。バスケットゴール修繕(大東中)。	1,969	24,801	

福間 守	石原 忍	廣野 祐二	渡辺 重光	高橋美佐子	多賀 法華	安田 栄太	梶谷 佳平	上代 和美	中林 孝	中村 辰眞	矢壁 正弘	佐藤 隆司	原 祐二
○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●

令和7年12月定例会

主な議案 審査結果

条 例	採択結果	採択状況
【条例改正】 ・市会議員及び市長選挙時の選挙運動用ポスターの作成と選挙運動用ビラの作成に要する経費単価を改正しました。 選挙運動用ポスター：1枚あたり「541円31銭」を「586円88銭」 選挙運動用ビラ：1枚あたり「7円73銭」を「8円38銭」	可決	全会一致
【条例廃止】 ・ソフトボール屋内練習場に変更するため、木次艇庫を廃止します。	可決	全会一致
【条例改正】 ・雲南市議会議員の議員報酬を改正しました。 市議会議員の期末手当：3.45月を3.50月	可決	賛成多数
【条例改正】 ・一般職の給料表と期末手当を改定しました。 給与：若年層に重点を置き、人事院勧告における平均改定率は+3.3% 期末手当：0.05月の増 ・会計年度任用職員等の給料表と期末手当も一般職の給料表に準拠し改定をしました。	可決	賛成多数

一般事件	採択結果	採択状況
【公の施設の指定管理】 指定管理者が決まりました。 ・尾原農村公園・多目的広場：特定非営利活動法人さくらおろち ・雲南市畑鶴森林公園：畑鶴森林公園管理部 ・雲南市大東堆肥センター：有限会社カネマツ建設 ・大東農村環境改善センター（桂荘）：海潮地区振興会 ・雲南市道の駅さくらの里きすき：さくらの里株式会社 ・雲南市道の駅たたらば壱番地：一般社団法人たたらば壱番地郷栄会 ・雲南市道の駅おろちの里：特定非営利活動法人ふる里雲南 ・国民宿舎清風荘：株式会社吉田ふるさと村 ・のびのび広場・加茂岩倉遺跡公園交流広場：加茂まちづくり協議会 ・雲南市下布施農村体験施設（交流棟・厩舎）：一般社団法人他力塾	可決	全会一致
【請負契約】 加茂文化ホール（ラメール）大規模改修事業（舞台機構設備）の工事請負先が決まりました。 ・契約の相手方：株式会社カナデビアエンジニアリング ・契約金額：154,000,000円 ・工事概要：大ホール及びふれあいホールの舞台諸設備更新	可決	全会一致

同 意	採択結果	採択状況
【同意議案】 新たに同意しました。 ・教育長の任命同意：小田川 徹哉さん（加茂町） ・教育委員の任命同意：田原 仁美さん（三刀屋町） ・固定資産評価審査委員の選任同意：佐藤 誠さん（木次町）、長妻 英文さん（大東町）、江角 祐司さん（三刀屋町）	同意	全会一致

採決結果

（議案・請願で賛否の分かれたもののみ掲載）

12月定例会分 議長は採決に加わりません 「○」・・賛成 「●」・・反対

議 案 名	採決結果	竹部 貴博	原 良太	吾郷 希穂
雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	●
雲南市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	●
令和7年度雲南市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	●
令和7年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	●
令和7年度雲南市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	●
令和7年度雲南市下水道事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	●
令和7年度雲南市病院事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	●
政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書	不採択	●	●	●

総務常任委員会

委員長 梶谷 佳平

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された6件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は、市議会議員の期末手当について、人事院勧告に基づき条例改正を行うものです。

問 条例改正に伴う補正額はいくらか。

答 38万円の増額補正である。

（主な予算の審査状況）

・令和7年度雲南市一般会計補正予算（第5号）

①防火水槽整備事業1、200万円の減額は、防火水槽1基分を減額するものです。

問 防火水槽設置が取りやめになった理由及びその予算を別箇所に充当する

ことはできなかったのか。

答 この予算は、大東町薦沢地区からの要望により1基分予算措置した。設置工事をするにあたり、

要望箇所の現地確認をしたが、その際に地盤が脆弱であり防火水槽を設置することが困難であることが判明した。このことにより、地元と協議した結果、別の場所での設置を検討することになり今回は減額した。なお、現状では市に対してその他



利用者増加のだんだんタクシー

の地区からの要望はない。

予算計上する際、防火水槽の設置が可能かどうか事前に現地調査しておくべきであるとの意見を付しました。

②だんだんタクシー事業244万3千円は、利用者の増加に伴う予算です。

教育民生常任委員会

委員長 上代 和美

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された10件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・加茂文化ホール大規模改修事業ラメール改修（舞台機設備）工事請負契約について

これは契約金額、相手方などについて議会の議決を求めるものです。

問 大阪の業者との契約だが、メンテナンなどで市内業者は入れるのか。

問 どの路線の利用が増加したのか。

答 前年度と比較して、大東町塩田線と掛合町南部線の2路線で、定期的な利用者が増加したことによるものである。



改修中のラメール

答 舞台機設備に関してはメンテナン스가あまりかからない設備であり、一般競争入札で当該事業者が落札したものである。

（主な予算の審査状況）

・令和7年度雲南市一般会計補正予算（第5号）

会計補正予算（第5号）

①老人福祉施設管理事業78万7千円は、掛合まめなかセンターの温浴施設におけるレジオネラ属菌検出に対応する施設修繕と清掃に係る予算です。

問 今回の修繕や清掃予算は理解するが、再びレジオネラ属菌が検査で基準値を超えた場合、今後の施設の在り方を先に検討すべきではないか。

答 立ち止まって、公共施設等総合管理計画に基づき協議し、調整を図っていく。

②大東高等学校支援事業408万8千円は、令和8年度入学者の受け入れ環境整備（宿舍）のため

委員会報告

必要となる備品整備及び施設改修等の予算です。

問 整備の内容は具体的に何か。

答 グランデ大東の施設改修は火災報知器の設置、備品の整備はベッド、テーブル、冷蔵庫、洗濯機などである。

問 財源について県の補助金は入っているのか。

答 県の補助金は運営費に係るもので、今回の財源には入っていない。

・令和7年度雲南市病院事業会計補正予算（第3号）

問 入院患者数の減により入院収益がマイナスになっている要因は何か。

答 外科医の人数が昨年に比べ減っているため、診療科別では外科の患者数が減っている傾向にある。また、DPC（診断群分類包括評価）導入で入院患者の回転が速く、空床をうめるために努力はしたが、予算を下回る結果となった。

産業建設常任委員会

委員長 安田 栄太

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された19件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。（条例等の審査状況）

・雲南市木次健康温泉センター条例の一部を改正する条例について

この条例は、おろち湯ったり館を利用する障がい者の方が減免を受ける際に、障がい者手帳の提示が必要だったものをデジタル障がい者手帳にも対応するための改正です。

問 他の温浴施設等にも同様の条例改正が必要ではないのか。

答 条例によって減免をしているのはおろち湯ったり館のみで、他の施設については、指定管理者の自主的な取り組みで減免を行っている。

（主な予算の審査状況）

・令和7年度雲南市一般

会計補正予算（第5号）

①道路施設整備事業1、220万円は、市道山田遠所線の整備費です。

問 発注してから調査をかけているのは何故か。

答 元々湧水が多い場所として調査したが、現場に入ると想定以上の湧水があり、予定していた工法ができないことが判明したので、盛り土で対応することにした。測量、排水工事等の費用がかかるが、今後の追加はないように予算内で行う。

②道の駅さくらの里き



市道山田遠所線

すき活性化整備事業の繰越明許費1億1,039万8千円は、道の駅さくらの里きすきの整備費です。

問 オープンはいつ頃になるのか。4月から5月にかけての連休に間に合うのか。

答 5月末のオープンになる見込みだ。連休については、部分竣工を行い、下の段の駐車場は開放したい。

③雲南市神楽の宿屋根改修事業の債務負担行為4,606万3千円は、神楽の宿の茅葺き屋根の改修工事費です。

問 設計費と工事費を含めているものか。

答 茅葺き屋根を撤去して、ガルバリウム鋼板にする工事費と管理業務委託費を含めた金額である。

④農業人材投資事業交付金24万円は、国の経営開始資金の対象外である50歳以上の認定新規就農者に対して、経営の安定化を図るための交付金です。

問 何を耕作する人に交付されるのか。

答 ぶどうといちごを耕作する人に交付される。

雲南市議会における 通年軽装の試行

市議会では例年5月から10月までの期間、軽装を推奨し、省エネルギーの推進や業務の効率化を図ってきました。

市職員は、令和6年11月から通年で軽装勤務を試行していることを鑑み、日々の気温や体調、環境等に応じて各自の判断による快適で動きやすい、通年軽装を試行実施することにしました。

本会議や委員会などの服装について、議会の品位を損なわない程度の軽装化にご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、ネクタイ・ジャケット等の着用を一律に禁止するものではなく、TPO（時・場所・場合）に応じた服装とします。



一般質問



12月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

ほんにせわなか 共創エネルギー



中林 孝

問 今秋、市内の各家庭に「うんなん共創エネルギー」からチラシがポスティングされていた。内容は中電から同社へ電力切り替えを勧誘するものだ。同社の電力料金は中電より5%安いという。

様々な所に問い合わせたが「必ず安くなるという保証はない」、とのことだった。同社には本市が5%出資している。市民から心配の声が上がっているが本当に大丈夫か。

答 利益還元の優先順位が中電とは異なる。中電は株主優先だが、同社は地域経済循環にコミットしており市民に還元する方針をとっている。

問 同社は国の補助金を活用して事業を立ち上げている。補助金がいづまでも続くとは限らない。太陽光パネルなど発電設備が耐用年数を迎えた時、設備の更新ができるか不透明だ。同社は持続可能なビジネスモデルか。

答 同社の契約期間は20年となっている。20年先がどうなるか、今のところ分からないというのが事実。今後も事業継続できるような内容等を精査し検討していく。

こどもまんなか 社会に向けて



佐藤 隆司

問 本年4月からの斐伊保育所業務委託の評価は、保護者アンケート結果では、概ね満足との評価をいただいている。

答 運営側の受託者の観点から、施設環境、職員確保、委託料等の問題は、

問 施設は空調等修繕箇所も多くなっている。職員確保は業務委託開始までの職員体制に心配があった。入所児童数に基づき公定価格により委託料を算出するため、今後の入所児童数減少による事業所運営への影響が問題である。

答 施設は空調等修繕箇所も多くなっている。職員確保は業務委託開始までの職員体制に心配があった。入所児童数に基づき公定価格により委託料を算出するため、今後の入所児童数減少による事業所運営への影響が問題である。

問 直営運営から民間委託の移行時、現会計年度任用職員（旧臨時職員）より民間の正規職員が安定雇用につながるのと説明であったが現状はどうか。

答 会計年度任用職員は年々給与、手当等処遇改善がされているが、1年単位の任用であり、定年まで継続雇用の民間の正規職員が安定雇用である。

問 市任用職員同等の積算をして業務委託をすることが必要ではないか。

答 こどもまんなか社会の実現に向けて、処遇改善や配置基準の見直し等国に要望する。

公共交通の 維持・充実に向け

維持・充実に向け



石原 忍

問 だんだんタクシーの運行は、市内のタクシー事業者に委託をされている。現在、運行事業者への委託料は、運行実績に基づいて出来高で支払

れているが、出来高支払い方式では、利用者が急にキャンセルをされた際などに不利益が生じるなどの問題もあり、定額方式にしてほしいという意見もあるが見解を問う。

答 交通の担い手の確保という点で大変重要な指摘であり、定額方式と実績算定方式の組合せなども含めて、どのような方式が良いのか、事業者と議論して行きたいと考えている。

問 だんだんタクシーの車両導入費や維持管理費は全てタクシー事業者の負担となっているが、経営も大変厳しい状況にあるなか、維持管理費の助成など一定の支援も必要であると思うが、見解を問う。

答 運行方法も含めて様々な検討をしている最中であるが車両関係の維持等についても、事業の継続性という観点から、検討する項目の一つであると考えている。

農業、脱炭素、
介護問題を問う



廣野 祐二

問 猛暑の中、稲作の政策誘導は行わないのか。

答 島根県が示している米10アール当たりの総収益は、コシヒカリが25万4千円、つや姫が25万円、きぬむすめが27万4千円となった。経営判断が適切にできるように、情報提供、分析等行って、適切な品種選択ができるよう支援が必要と考える。

問 脱炭素の取り組みは、脱炭素社会実現のために、財政負担が生じないように配慮しながら進めていく。うんなん共創エネルギーの令和17年度の売上高は、脱炭素先行地域選定を前提として約10億円を見込んでいます。その売上の1%は、偏ら

ないように地域自主組織等の活動に還元されるよう監視する。電気の購入選択は、あくまで住民の判断である。

問 介護事業の問題は、被保険者の自己負担の増加、総合事業の拡大、ケアマネ利用の負担について懸念をしている。事業所に対して、交付金も活用した支援を精査中である。事業所の連携の在り方についても関与する必要がある。

答 被保険者の自己負担の増加、総合事業の拡大、ケアマネ利用の負担について懸念をしている。事業所に対して、交付金も活用した支援を精査中である。事業所の連携の在り方についても関与する必要がある。

**閉校した図書館
蔵書の使い道**

吾郷 希穂

問 統廃合した学校図書館蔵書の活用は可能か。現在幾つの廃校図書館で在庫本が残っているか。廃校図書館を資料保管等に使用可能か。司書へも

ICT化が必要では。

答 合計4つの学校で在庫本再利用は可能だが、現在希望する学校はほぼない。資料保管等について、一定の意義はあるが司書や職員の負担増等運用面で導入困難。ICT化としてタブレットの配置はしていないが操作方法等、共有化に努める。



佐世小学校図書館

問 木次子育て支援センター「くりおね」は令和7年3月15日に建替移転し、現在利用者数から予測で1万人を超える見込みだが、受託から1年経たず運営収支赤字となる

状況。どのような計算で委託したのか。

答 国の交付金基準額を参考に算出している。

問 安心して雲南市で子どもが育つことや子育て世帯移住者定住対策とは。

答 親や家族、社会で支え育つ安心感と安心の子育て環境があり、住まい確保や保育・教育・医療関係の整備や、いつでも相談できる環境とその情報発信等が必要と考える。

**こども園等の
短時間利用見直し**

梶谷 佳平

問 こども園等を標準時間（11時間）で利用している保護者に、新たなきょうだいが誕生した場合の保護者が育児休業期間中は短時間（8時間）利用に変更となる。赤

ちゃんの育児を行いながら上のきょうだいの短時間利用は、子育て世帯に負担である。令和8年度から短時間利用を見直す予定とあるが、その内容を伺う。

答 令和8年度入所申込みから、産前休暇前に標準時間利用していた児童に限り、保育時間を標準時間利用と短時間利用のどちらかを選択できるように変更した。

問 市が保有する長期有価証券の合計額17億円（運用期間約20年、金利0.3%前後）は、金利上昇に伴いどの程度の評価損となり、その損失額の責任はだれがとるのか。

答 11月末時点で評価合計額は10億4,639万円となっている。今処分すれば損失が発生するが、満期までしっかり保有できる財政運営をしていく考えである。

消防団員の勧誘に
対する支援を



安田 栄太

問 新入団員の勧誘について、地域と団員が連携して行っているが、勧誘の場では保険等の説明が必要なことから、市の職員も同行できないか。

答 今のところ考えていない。消防団と情報共有し検討する。

問 消防団員の慢性的な定員不足が生じている。団員確保に向けてこれまでに負担軽減や処遇改善等に取り組まれたが、新たな対策はないか。

答 これまでに団員報酬等の引き上げを行ってきた。現時点で明確な対策等はないが、様々な面で検討が必要と考えている。消防団幹部と協議し引き続き検討を進めていく。

問 団員が加入する共済

について、任意での加入となっていることから、加入希望者を募って掛け金を徴収する作業を団員が担っている。市で管理することはできないか。

抜本的な
移住定住政策を



竹部 貴博

問 抜本的なU・Iターン

施策として、定住割合より人数確保が大切であることから、スポーツ振興を中心にした地域おこし協力隊の活用でクラブチームの誘致や雇用創出で若者が働ける環境を整えてはどうか。

答 活動の公益性、収益性に課題があり、継続が可能かつ地域との連携が深まるミッションを組む必要がある。総務省と協議しながら、検討する。

問 家族で雲南市の暮らしと保育を体験する保育園留学は、二拠点居住や移住、子育て環境の魅力発信、関係人口の創出、更には保育園の経営改善や地域経済の振興に繋がるが、導入の可能性は。



株式会社 CNC *が行う里山留学

答 類似の事業で昨年度から実施している親子ワークショップも含めて、

保育園留学の必要性は、感じているが、課題は受入体制の構築と財源。

問 最たる課題は、財源だと認識しているが、他市の先進事例、国の有利な財源確保に向けて調査をすべきではないか。

答 事業内容と課題を明確にした上で、解決策を模索する。

※地域づくりの活動団体。

財政運営には
明確なビジョンを



福間 守

問 財政運営の見通しが厳しくなる中、数値目標の明確化が必要。市長は財政の収支均衡を目指すとしながら達成年度を明示していない。何年度までに達成する考えか。

答 現時点で何年までにと明示しがたい。一年で

も早く収支均衡を達成すべく、公共施設等総合管理計画を着実に推進し、毎年度の事務事業見直し、経費節減、組織の見直しに踏み込むなどの行財政改革を進め、積極的な財源確保に取り組む。歳入歳出問わず、あらゆる努力を図る中で収支均衡が可能となるように取り組まなければならない。

問 職員の勤務時間と市役所の開庁時間が同じ8時30分から17時15分まで、開庁前の準備と閉庁後の片づけの時間を確保するため、開庁時間を9時から16時30分までに短縮して試行してはどうか。

答 開庁時間の短縮は住民サービスの低下につながるということが懸念される。今すぐに試行という考えはないが、実施自治体の導入方法も調査しながら検討したい。

どうする
掛合体育館



渡辺 重光

問 掛合体育館について、市長は、長寿命化が望めないことから、令和5年9月及び12月の施政方針において、解体、新築の方向と述べられているが、今後の対応を改めて問う。

答 地域のスポーツ、文化活動の拠点施設として、大変重要な施設であり、整備実施に向け、引き続き取り組んでいく。

問 運転免許証を自主返納した者には、優待乗車券が交付される。しかし、その配偶者が車の免許証を持っていない場合、優待券を利用できず、廃棄される場合が多いと聞く。こうした場合、配偶者がこの優待券を使用することはできないか。

答 この優待券は、免許

返納者個人への支援として制度化している。しかし、ご指摘の免許返納された本人と、免許証を持たない配偶者のケース等について、制度目的に反しない範囲での利用のあり方を検討したい。また、車を使わない場合、温泉券としての組み合わせの申請も可能である。家族の状況に応じた申請にも対応していきたい。



優待乗車券（見本）

周辺地域への
定住対策は



原 祐二

問 若者回復率の低い周

辺地域への定住対策は。

答 人の循環を生み出す、地域おこし協力隊や特定地域づくり協同組合を前進させ、基幹産業（農林業）や子育て環境を支えていく。

問 社会体育館の想定利用者数から算出される、町別の不足面積は。

答 大東地区では621㎡、掛合地区では491㎡、2地区が必要面積を満たしていない。



問 掛合体育振興センターを廃止し、掛合体育館を建替えるとの方針が示された。地域施設の体

育館として必要な面積は。

答 アリーナ、多目的スペース及びトイレ、更衣室の必要面積は、1300㎡程度と見込んでいる。

問 財政状況を市民と共有し、目標の達成を図るべきだ。

答 中期財政計画を見直し、今年度の予算編成を通じて目標値を示したい。

硬式野球クラブ
チーム結成を



原 良太

問 目標高く、雲南市から都市対抗野球大会予選参加を掲げ、選手を地域おこし協力隊として招集し、本市の地場企業で就労して貰う、硬式野球クラブチーム結成立ち上げについて提案する。本事業は、夢を追う若者の応援に繋がるのは勿論のこ

と、本市の人材育成と人材確保（定住人口及び交流人口の拡大）、地場産業の維持活性化、本市のブランド化（税収増）、全市的な一体感を醸成することに有益であると考ええる。

答 人材育成や人材確保、地場産業の活性化に寄与し外向けのPRにもなるという点では大変に素晴らしいことである。問題はどこまで税の負担をするのか（地域おこし協力隊制度の利用が妥当なのか）という点については十分な議論が必要だ。またスポーツ活動は支援体制の整備など全体の盛り上りも必要。ただ、最初から諦めるのではなく、本当にそうした動きがあれば、市としても、時間はかかるかもしれないが、チャレンジをしていくことは十分に考えていかなければならない。

米の増産で
農業政策の転換を



上代 和美

問

昨年からの令和の米騒動で、農家や消費者は米不足、米価高騰に振り回されてきた。これは政府が米の需給に対する責任を放棄し、市場まかせにする失政の結果である。ゆとりある需給計画で米の増産をはかり、備蓄の拡大と柔軟な放出で需給と価格の安定を図るとともに、市場価格が下がったときに生産を支える助成に政府が責任を持つことが必要ではないか。

答

食料安全保障という観点で考えると、米の輸出を前提として増産を図るという考え方は大切な視点と考える。基本的には、翌年の需要に応じた生産がなされることが必要と認識している。

問

2025年農業センサスで、基幹的農業従事者が5年間で半数以下になったと公表された。このままでは農村が崩壊し、食料の生産基盤が失われかねない。生産者への所得補償を実施するよう国に求めるべきではないか。

答

食料・農業・農村基本法が改正され、合理的な費用に基づいた価格設定で事業継続できる状況になることを期待する。

物価高騰対策
について



中村 辰眞

問

国の経済対策の中で、気になるのが「お米券」である。市販米価を踏まえれば、お米券3千円では5キロの米は買えない。この3千円は経済対策として有効と考えているのか、市独自で上乗せをし5千円程度とする考えはないか見解を伺う。

答

お米券を全世帯に配布する考えはない。現在、食品の価格高騰対策というところで、処方を検討している。金額等については総合的に考えていく。

問

物価高騰により修学旅行に影響が出るのではないかと感じている。今まで通りの行き先や行程を維持するためには対策が必要と考えるが見解を伺う。

答

今年度は、行き先や行程を大きく変更した学校はない。今後は、複数の学校の合同実施、2つの学年が同時に修学旅行に行く隔年実施や公共交通機関の利用、見学先の検討、日程の工夫などの対策が必要であると考えている。修学旅行は普段と異なる環境で見聞を広める大切な学習であり、工夫をし、継続させる。

しょうかけんじりんちん
台湾彰化縣二林鎮議会への訪問

令和7年10月16日から19日まで、雲南市と友好協力に関する確認書を交わしている台湾彰化縣二林鎮などを石飛厚志市長とともに、松林孝之議長と矢壁正弘前議長が市議会を代表し訪問しました。

日本での市役所にあたる公所こうしよや市議会、高校など関係機関を訪問し、雲南市のPRコーナーアーリンが設置されている農業協同組合、楽林フードバンクなどを視察しました。

今回の訪問は、これまでの友好協力の深さを改めて実感する貴重な機会となりました。今後も両市のさらなる交流と発展に取り組んでまいります。



委員会視察報告

議会運営委員会

愛知県江南市議会
愛知県半田市議会

- (1) 市議会議員政治倫理条例について
- (2) 議会改革の取り組みについて

令和7年10月28日から29日、愛知県江南市議会と半田市議会で視察を行いました。

江南市議会では、議員政治倫理条例の制定に向け、議会改革特別委員会において9回にも及ぶ協議を重ねられていました。議会改革では、タブレット端末の導入やフェイスブックによる積極的な情報発信、市議会公式YouTubeの運用など、ICTを活用した改革も積極的に取り組んでおられました。

半田市議会においては、これまで複数回の政治倫理審査会が開催され、議員辞職に至った事例などの紹介もありました。議会改革の一環として「H



江南市議会議場

AND A若者議会」と名付けた地元高校生との交流を図る取り組みでは、参加した生徒から「これから私たちも社会を支える側の一員として、頑張っていきたいと思います」「自分たちが考え、行動していきたい」などの感想も寄せられており、非常に良い取り組みをしておられ



半田市議会での意見交換

ると思いましたが、今後の議会運営において大変参考になりました。また、事業評価については、6月から評価事業の選定を始めるなど、時間を掛けて事業に関する調査をしながら評価に繋げておられ、学ぶべき取り組みだと思いました。

最後に、今回の視察で学んだことを参考に、事務局と協力しながら議員政治倫理条例制定に向け、市民からの請求権の有無などを含め、慎重に議論して行きたいと思えます。

議会広報広聴特別委員会

兵庫県淡路市議会
兵庫県洲本市議会

- (1) 議会だよりの作り方や編集全般について
- (2) 広聴活動（議会報告会）について

令和7年10月16日から17日、兵庫県淡路市議会と洲本市議会で視察を行いました。

淡路市議会の議会だよりは、議会で審議された予算や施策内容の一部を市の広報誌に委ねられ、市報と重複しないよう、特に市民の生活に関わる記事を中心に選定し掲載することを重視されています。また、市内児童生徒による「わたしの意見」のページや各種団体の特集ページが設けられ、作成にあたり委員自身が生地へ出向き、趣旨の説明や調整を行っておられます。報告会の補完的機能と議会の広聴活動の一部を担う役割を議会だよりが果たしているところが本市議会との一番

の違いであり、今後の参考としたい点です。

洲本市議会の議会だよりは、議案について討論が行われた際、その議案につき賛成・反対、それぞれの討論内容を記事とされていることが印象的でした。一般質問以外の場において、如何に議会で議論が行われているのかを広く知っていただくために大変参考となりました。



淡路市議会議場



洲本市議会での意見交換

した。また、洲本市議会
だよりも、高校生によ
る政策提案発表会（高校
生議会）を開催された上
で特集記事を掲載してお
られ、淡路市議会同様、
広報誌が広聴機能の一翼
を担っておられます。
また、両市議会ともに
広報技術研鑽のための研
修会に参加しておられ、
広報技術向上を図ること
への重要性を再認識しま
した。
最後に、広聴会の内容、
周知方法についてはいず
れの議会も本市と同様に
苦慮されており、引き続
きの検討課題であると思
えます。

島根原子力発電対策特別委員会

愛媛県伊方町…四国電力伊方発電所の安全対策について
愛媛県西予市…住民避難行動計画について
愛媛県オフサイトセンターについて

令和7年7月30日から
31日、愛媛県伊方町と西
予市で視察を行いました。
四国電力伊方発電所は、
1、2号機が廃炉、3号
機が再稼働中です。使用
済み燃料を一時的に貯蔵
する施設が設置され、令
和7年7月に運用を開始
しています。国の安全基
準に加え、自主的な対
策（①変電所からの配電
線敷設、②海水をくみ上
げるための新たな電動ボ
ンプ設置）を実施し、安
全・品質の確保を最優先
としています。安全対策
は、電力事業者任せでな
く、自治体も定期的に確
認する必要性を感じまし
た。
西予市は、市の西側半
分が伊方発電所の30 km
圏内に含まれます。原子
力災害住民避難計画とし



伊方発電所

ての「西予市住民避難行
動計画」は、随時見直し
ながら『概要版』を配布
しています。行政区毎に
避難先を西予市東部の30
km圏外の5市町に指定
しています。
原子力防災訓練の課題
は、参加者に高齢者が多
く現役世代の参加が少な
いことでした。
愛媛県では、発電所の
正常状態以外のすべての
事態を四国電力が県へ速

やかに通報し、通報を受
けた県が情報を公表す
る「えひめ方式」により、
危機管理課の担当者あて
に異常通報がすぐに届く
仕組みです。関係機関が
情報を共有し、相互の信
頼関係を高めていくこと
が重要と感じました。
原子力災害において、
国の現地対応拠点となる
愛媛県オフサイトセン
ターは、免震構造で放射
線防護対策が施され、非
常用電源装置や無停電電
源装置が設置され、参集
要員が7日間程度活動で
きる水や食料が備蓄され
ています。



愛媛県オフサイトセンター

次期一般廃棄物処理施設整備調査特別委員会の設置

次期一般廃棄物処理施設整備に関する調査・研究を目的に特別委員会を設置しました。

委員長 佐藤 隆司

副委員長 中林 孝

委員 原 良太
多賀 法華

吾郷 希穂
上代 和美

石原 忍
原 祐二

廣野 祐二



議会と語ろう会



開かれた市議会を目指し、市民の皆様からの声を直接お聞きする「議会と語ろう会」を開催しています。

今回は、大規模公共施設整備事業の4事業をテーマとし、11月6日・12日、市内6会場で開催し68名の参加がありました。多数の意見をいただきましたので、事業毎にその一部を紹介します。

【次期一般廃棄物処理施設検討状況】

- 検討について1市2町で取り組まなければいけない問題なのか。議会で議論がされているのか。
- 再検討すること自体全く無駄である。
- もっと広域で行っていく必要があるのでは。
- 各施設は各市町に分散設置してほしい。火災等のリスク分散のため要望する。
- (建設に) お金が支払えるのか。悪い箇所を直して使えるようにしては。
- 先延ばしにすればするほど建設費は上がるので、どの辺りかで決断をされないといけない。
- これまでの整備計画と今回の再検討とは何が違うことになるのか、しっかりと精査すべきである。

【木次中学校改築事業】

- 学校の整備は、今後の人口減少(少子化)を踏まえて計画して欲しい。
- これから人口が減る中で三万屋中

学校がすぐ近くにあるのに、なぜ新しいものを作るのか。

● 木次中学校単独で新たな校舎を建てることは得策ではない。

● 教室等については、子どもの将来推計等も踏まえ、減少後の活用方法も十分加味して計画を立てて欲しい。

● 保護者さんの意見を聞いてもらう機会があると嬉しい。

● 学校がないと地域は廃り、子どもたちの競争力がうまれない。

● 建て替えの3年間ずっと仮設校舎にならない様工夫をしてほしい。

【さくらんぼの里きずき活性化整備事業】

- 道の駅活性化整備は本来に必要なのか。実際、災害時に誰が使うのか。
- 防災備品を配備されなければ拠点にはならない。
- 道の駅は注目を浴びているので、観光の拠点にしていくことも重要。
- 建てた物の維持管理はもっと本気でやるべき。
- この道の駅がでなくても我々は不便を感じていない。
- 交流センターはこれだけ必要なのか。
- (老朽化した交流センターについて) 新築を要望する。

【その他の意見】

- 地域自主組織の担い手が少ない。
- 自治会運営が非常に難しい状況な

ので、もっと地域の声を聞いて対応を検討して欲しい。

● 市道の草は刈りっぱなしだが、良いのか。高齢者はかりで自分の家の周りの草刈りがギリギリだ。

● 子育ても大事だが、高齢者が安心して、生活のために移動ができる手段の確保をお願いしたい。

● 市内の公園は遊具がたくさん使用禁止になっている。

● 人口の問題はもう避けて通れないので、コンパクトシティを考えていかざるを得ない。

● 市にとって、定住・雲南市を残す、という点でも人口は増えないといけない。

● 6町村の合併で雲南市となったが、オール雲南ではなく以前の町村地区の存在感が強い。良い悪いではないが昔ながらの考え方が根強い。それが今の雲南市の特徴だと思う。

● 市に同じ用途の施設が複数あるが、本来一つで良い施設ならば一つ。二つないといけない施設であれば二つを残す、という取捨選択を実施させるのが議会の役目。

● ラメールを何十億もかけて改修をされたが、本当に施設が必要だったのか。もっと考えて本当に市民が困っているところにお金が使えようにしたい。

● 新しいものを建てることはワクワクする。

クする。

● 大事業については、パブリックコメントではなく、市民に一人ずつ了解を得るぐらいの気持ちでやらないといけない。

● 市の財政について、僕たち市民に対して本当のお話をして欲しい。

● 市長の説明では財政は大丈夫と言われるが、非常に心配している。市政のチェック機能は市議会議員の皆さんなので、更に厳しいチェックで監視をしていただきたい。

● パブリックコメントではなく対面での話の場を設けていただきたい。

● 議会と語ろう会の場の増加を希望する。





木次線一周の旅

木次線活性化議員連盟
幹事長 中 村 辰 眞

雲南市議会では、「木次線活性化推進議員連盟」を結成し、市民の皆さんと共にイベント等へ参加をし、木次線の活性化に努めています。

去る11月4日に「木次線～芸備線～伯備線～山陰本線」と乗り継いで木次駅発木次駅着という体験乗車を行いました。

当日は11時54分木次駅発の列車に乗車。2両編成の列車は多くの乗客でにぎわい、木次線に対する関心度が増していると感じました。列車は時刻どおりに進み出雲横田駅へ。ここで2両目の車両が切り離され、以後単機で備後落合へ。この先、木次線最大の魅力である出雲坂根駅の「三段スイッチバック」では運転士が移動する光景に乗客から感嘆の声が聞こえていました。その後、真っ赤な「おろちループ橋」を紅葉越しに見ながら備後落合駅へ到着。木次線、芸備線上り、下りと3方向からの列車がそろい、かつての賑わいを思い出させる瞬間でした。芸備線に乗り換え新見へ。新見駅を目指す壮快な走行は、木次線と

は違う体感がありました。新見からは新型となった「特急やくも」で宍道駅へ。この日最後の乗車は再び木次線。加茂中・出雲大東・南大東と降立つ方々を見送りながら列車は木次駅へ。そして日登駅。芸備線の存廃問題次第では木次線にも影響が及ぶ可能性を含んでいると考えています。少し時間はかかりますが木次線利用促進の一つとして体験してみたいかがでしょうか。



雲南市・奥出雲町議員連盟有志



請願・陳情の提出について

3月定例会の請願・陳情は2月27日（金）17時まで、議会事務局へ提出してください。

上記の受付期限を過ぎた請願・陳情は、6月定例会での審査となります。

編集後記

令和8年の新春は60年に1回巡ってくる丙午（ひのえ・うま）です。古くからの迷信ではこの年はあまりイメージが良くないと言われていました。

深刻な日本の人口減少は令和6年にも表れ、出生数は初めて70万人を下回りました。想像はしたくはないですが、60年に1回の丙午年の迷信が今でもあるとすれば問題です。

「丙（ひのえ）は火や太陽など華やかさや明るさを意味する」、「午（うま）は勢いや力強さを意味する」ことから「火の勢いとエネルギーに満ちた活動的な年」となればと思います。何事も良い面を想像し、よりうまく躍進的に伸びゆく「えすこな雲南未来図」を描き、その実現に向けて大いに期待する年でありたいと思います。
④

議会広報広聴 特別委員会

委員長 多賀 法華
副委員長 原 良太
委員 吾郷 希穂
石原 忍
廣野 祐二
渡辺 重光
佐藤 隆司
原 祐二